

平成22年度事務事業に係る評価シート【試行(18事業評価)】

課名	事業名	事業の目的		事業の主な内容	一次評価(担当者評価)					評価結果 (担当課長評価)	主な改善施策・方向性等
		対象	意図		事業の貢献度	費用対効果	事業の縮小・中止の影響度	コスト引下げの余地	総合評価		
総務課	1 財政管理事務費	財務事務に関する経費	財務及び起債システムの管理	財務会計システム及び起債システムの管理・運営	A	A	大	×	A	現状維持	当面経過観察
	2 財産管理事務費	穴水町	町有財産の管理	町有財産(土地・建物)の管理、集会所等。公園の維持管理	A	A	大	×	A	現状維持	当面経過観察
税務課	3 賦課徴収税事務事業(事務費<需用費・役務費・償還金・公課費>)	賦課・収納に関する事務事業全体	税に関する事務事業の管理・運営	賦課・収納に係る事務事業料	A	A	大	×	A	現状維持	当面経過観察
生活環境課	4 防災関係業務費(防災ラジオ)	町民	防災情報を防災無線を通じて、防災ラジオに情報提供	防災無線難聴地域へ防災ラジオを有償で配布	B	B	大	×	B	現状維持	東日本大震災から更に防災意識が高まっているため今後も実施
	5 防災関係業務費(自主防災組織の育成)	町民	自主防災組織の充実	自主防災組織の推進、防災リーダーの育成	A	B	大	×	C	事業規模の見直し	組織及びリーダーを増やす施策の検討
住民福祉課	6 老人福祉費(敬老会事業)	80歳以上の町民	高齢者を敬愛し、長寿を祝うために、敬老会を実施する	穴水町在住80歳以上を対象とした敬老会の開催費用	A	B	大	×	B	現状維持	少子高齢化が進む中、対象者が増加傾向にある
	7 児童福祉費(商工会地域振興対策事業費補助金)	穴水町商工会	地域の賑わいの創出と併せて、子育て世帯の負担軽減を図る	あすなる商品券(子育て支援券)の発行に係る費用の補助	B	B	大	○	B	事業規模の見直し(当面現状維持)	枚数及び販売セット数の適正化の検討
健康推進課	8 外出支援バス事業	75歳以上の虚弱高齢者及び障害者手帳の交付をうけた町民	住み慣れた地域で生活ができるように外出に対する支援を図る	75歳以上の虚弱高齢者等を対象とした医療機関への送迎事業	B	C	大	○	B	事業規模の見直し	適正ダイヤの再設定
	9 インフルエンザ個人接種事業	65歳以上又は身体障害者手帳1級である60歳から65歳などの町民	発病・重病化の防止、及び間接的な集団感染予防を図る	インフルエンザ接種に係る医療機関との委託等	A	A	大	×	A	現状維持	当面経過観察
	10 デイサービスセンター運営事業	要介護・要支援認定者	要介護・要支援者の生活の助長、健康保持を図る	デイサービスセンターの運営	B	C	小	×	B	廃止	今後、民間デイサービスが開所される見込みであることから、事業の廃止を図る
産業振興課	11 シルバー人材センター推進事業	働く意欲のある高齢者	高齢者の雇用確保及び事業所とうの人材不足等の解消	シルバー人材センターへの補助金	A	A	大	×	A	現状維持	当面経過観察
	12 商工振興総務費	町内商工業に携わる中小企業	社会状況の変化により影響をうけた企業等に対して支援を行い活性化を図る	穴水町商工会事務補助金、地域づくり協議会助成金等	A	A	大	×	A	現状維持	当面経過観察
企画情報課	13 まちづくり推進事業(若者による活気あふれるまちづくり事業)	町外に在住する学生等	交流人口の拡大を図り、地域の活性化に資することを目的とする。	町内に合宿を行う町外の団体に対し補助金を交付する	B	B	中	×	B	事業内容の見直し	更なる交流人口の拡大等を目的に内容の拡充を検討
	14 ケーブルテレビ整備事業(ケーブルテレビ運営支援補助金)	能越ケーブルネット	運営支援補助金	固定資産相当額を運営支援補助金として交付	B	B	大	○	B	現状維持	当面経過観察
基盤整備課	15 道路維持修繕事業	地域住民	適正な道路維持による安全な通行を確保する	町道の維持修繕	A	A	大	×	A	現状維持	当面経過観察
教育委員会	16 生涯学習施設整備事業	穴水町	生涯学習施設の複合化を図り、町民サービスの向上を図る	図書館・公民館等事業と施設の運営維持管理	A	B	大	×	B	現状維持	復興まちづくり支援施設内に公民館、図書館、児童館を複合化し、町民サービスの向上を図るため、適切な維持管理を行っていく
	17 体育施設管理事業(穴水町文化・スポーツ振興事業団委託料)	B & G 海洋センター・体育施設・野球場	指定管理者による適切な運営・維持管理	自主事業及び施設の適切な運営・維持管理	B	B	大	×	B	現状維持	経費の節減を図るとともに、施設の適切な運営・維持管理に努める
上下水道課	18 下水道接続啓発事業	町民	下水道接続による公衆衛生の向上並びに環境保全の理解を深め、下水道未接続世帯を減少させる	ケーブルテレビ、広報等を活用した接続推進と下水道事業のPR等	B	B	中	×	B	現状維持	当面経過観察

評価項目  
 事業の貢献度 A: 目的達成に大変寄与している B: 目的達成に概ね寄与している C: 寄与度は薄れている D: 寄与度がない又はマイナスに向かっている  
 費用対効果 A: 効率性が高い B: 効率性がやや高い C: 効率性がやや低い D: 効率性が低い  
 事業の縮小・中止の影響度 大: 影響が大きい 中: 影響がややある 小: 影響がない  
 コスト引下げの余地 ○: コスト引下げの余地がある ×: コスト引下げの余地がない  
 総合評価 A: 適切(十分)に実施できた B: 概ね適切(十分)に実施できた C: やや不適切(不十分)であった D: 不適切(不十分)であった